

令和4年度 第4回中和地区3市1町自立支援協議会相談支援部会 会議録

令和4年12月6日（火）10時～

オンライン ZOOM で開催

出席団体：中和圏域マネージャー、葛城市社会福祉協議会、生活支援センターなっつ、相談支援センターふわら、香芝市社会福祉協議会、生活支援センターもちつもたれつ、まんだらトポス、しえ〜く、葛城育成会、どんぐり、大和高田市社会福祉課、葛城市社会福祉課、青垣園

欠席：香芝市社会福祉課、広陵町福祉課

【内容】

1. 各連絡会の報告等（地域の実情の把握について）

○大和高田市

10月28日計画相談支援事業所に対しての行政説明、精神障害のある方への関りについて研修を行

う。昨年度も Zoom で行ったが、今年は顔つなぎも含め対面で行った。R3年の報酬改定について

イメージを持っていただくために説明を行う。

振り返りのアンケート結果には、「とても勉強になった」「今後も行って欲しい」「3市1町で行っ

て欲しい」「障害だけでなく、包括的なことや支援者自身の健康についても勉強会を行って欲しい」

と記載されていた。特定相談支援事業所よりもっと集まる機会を作って欲しい希望があったので次

回12月23日、1月13日に集まっていただく方法を検討する予定。

○葛城市

介護保険について勉強会を実施。ケアマネにも障害のサービスがわかっていない、お互い勉強の必要があると思われる。

○香芝市

忙しく予定が立っていない。年明けに実施を検討したいと思っている。

○広陵町

11月に実施する予定であったが、濃厚接触者がいた為12月15日に延期

2. 研修会の開催等について

○日時：令和5年2月1日（水）14：00～16：00

○ZOOM ハイブリッド形式で会場（大和高田市役所 5F 6,7 会議室）と講師とつなぐ

○講師：氷見市社会福祉協議会 山崎氏、領毛氏（依頼文送付済）

○テーマ：ふくし相談サポートセンターの取り組みと多機関協働の包括的支援体制構築について

事前アンケートの内容は伝達済

当日質疑応答の時間を多く取ってもらえる

・どのような形で意見を聞いてやり取りするのが良いのか。講師にも聞いてもらっている感がある方が良いのでは。

○当日までの TO DO は？

・Zoom のホストについて：大和高田市では ID が取れないので『ブリッジ』の ID が利用できる

かどうか確認。有料のアカウント、共有の権限の調整が必要。グループワークのやり取りは予定

していないので、その操作の必要ないが・・・。

- ・当日までにオンラインで先生方と直接やり取りを行い調整する予定。
- ・参加事業所は基本部会員にする予定だが、3市1町内社協にも声掛けしてはどうか。

3. その他（事例検討を含む）

○全体会について

- ・2月28日（火）産業会館にて3部構成で行う。

1部 各部会等の報告

2部 グループワーク

グループ分けは参加の事業所をみて決定する。

1部からグループワークの席についていただく。

ファシリテーターとして委託の事業所が対応。

3部 1F 展示ホールを使用し物産販売や体験コーナーを開催

香芝市で先日行われた事業所の体験会が好評であった

物品の品は限定しないが、食品はテイクアウトのみ

ブース内ではパネルによる事業所の説明は可能

事業所の数が少なすぎたり、多すぎたりした場合は検討が必要となる。

- ・申し込み締め切り：12月23日高田市へ mail か Fax

特に駐車場の警備や昼食時間の確保など ⇒ 事務局でこれから検討

- ・2月に開設されていない事業所には案内は行かないのか ⇒ 参加してもらっても良い。

研修課題に自立支援協議会調べを出されることが多い。横のつながりが必要である。ちゃんとした認識理解をしていただく方が良い。

- ・香芝市の体験会では一般の人も来られていたが、今回参加の対象者が福祉事業所になっている

ので相談のブースは必要なのか。⇒ 広報などに載せる方向で動いている。また1月にチラシが完成予定。開設されていない事業所の参加は事前に事務局に連絡をいただく。

- ・3市1町以外から物品販売などの希望があっても受けない。ブースの開設は3市1町のみ。

○事例検討について

- ・教育委員会が放デイを適応指導教室やフリースクールとして認めている市町村があれば教えていただきたい。

学童では受け入れてもらえないが、不登校をつなげていっている所がある。

出席日数を換算している所が西和7町にある。学校と話をして出席日数と認めているようであるがどの様にカウントされているかは不明。

広陵町には適応指導教室は無いが事例から入っていくケースがある。地域の学校にいけない子供に対し、どの様に話され学校教育が認められているのか。

他圏域 M に確認をとる。また文部省の不登校児の出席の扱いについて通達があった。学校と相談関係との協力体制がとられているのであれば認められるとされている。

・地域生活支援拠点整備事業に対する相談支援事業所としての相談ができていない。事例に出

していく事が協力にならないか。相談支援とセーフティネットになるような仕組みをどの様

に作っていくのか。

生駒市：緊急対応について一人暮らし体験を実践

橿原市：要綱は出している。実際の中身として訓練とは別に体験をしていただく。

体験をしたい方のアセスメント・計画に相談支援事業所に関わってもらう。

・重度心身障害者についての研修（緊急時の避難対応について）

福島県の方から話を伺ったが、災害時の避難場所について地域の避難場所、家、地域の福祉事

業所など色々なケースが考えられる。避難場所に避難してもそれで終わりではない。その人を

どの様に守っていくのか後のケアが必要。

ケースにより避難が難しい。ほとんど関わる事が無かった一般の人との過ごすことで環境の

変化が大きく、負担がある。

福島県では避難を含めた計画書が作成されている。

行政も有事になると一人一人に手が回らない。

地域での課題があればそれぞれの市町村で話し合う。

福島県では基幹相談支援について自立支援協議会で制度化し、きちんと仕組みが出来ていた。

高齢も巻き込んで一緒に自立支援協議会に働きかける必要がある。自立支援協議会の強化を考

えていく必要がある。

葛城市の避難場所自体が調整区域になっている。その場所自体が被害場所になる可能性があ

る。数多く場所を把握しておくことがベスト。

入所施設などは山の縁にあることが多い。人に迷惑を掛けたくないと思難を考えたくない人

もいる。具体化して動けるようにしていく必要がある。

・持っているケースの家庭に泥棒が入り金銭を盗まれることがあった。息子がG Hに入居し、認知症の母親の一人暮らしであった。香芝市でも独居の人の家に盗みが入る事があった。不審な動きをしている人がいるので独居の人は気を付けた方が良い。

・精神障害のある方が引き籠りで医療機関の受診が全くできてない状態であったが、ようやく往診に来ていただける Dr が見つけてほっとしている。

・本人を説得するが中々聞いてもらえない事がある。電話での診療をしてもらえたが、Dr の個性もある。

・宗教関係に困り込まれていた人に対し、宗教の中で医療機関への受診がされてこなかった。

G Hでの生活を検討しているが、意思疎通ができない状態で家族や宗教関係者以外と人と生活できるのか不安。家族や従兄等で見学の話が出ているが、G Hには見学の話まで進んでいない。

相談支援部会研修会： 令和5年2月1日（水）14時～

次回部会開催日時： 令和5年2月7日（火）10時～ 大和高田市にて

以上